するの（３）

への ちいてを

もしのりにのががっているがあったら、まずですことができるかどうかちいてしてください。

もし、がまださければ、をうかをのなどでぬらしてからかぶせると、えがるのをぐがあります。

りにがいるは、やのなどをって、にをすことができないかをけてみてください。

すでにがえがり、ですことがしいは、のをしながらやかにげてください。

をくして、がってきていないかよくし、にきまれないようにしてください。

できなれがあったなどは、のため、がきていないかをにしているたちでけしてしておくと、よりです。

　げるときにすること（３）

さいをつけたら、ちいてをしましょう

もし、くでをつけたら、まず、ですことができるかどうかちいてえてください。

もし、がさかったら、をうか、をでぬらしてからかぶせると、がえます。

くにがいるは、にをすことができるかしてください。

がきくてですことがしいは、いでがないほうへげてください。

のあと、がきていないか、くのとにするとです。